

日本脳腫瘍学会の皆様、

この度は第4回開催にあたり、多大なご支援いただきありがとうございました。おかげさまで国内外から250名を越える参会者を得ることができ、大盛会のうちに終えることができました。

AASPN2023における小児脳腫瘍ガイドライン、およびControversies in pediatric brain tumorのセッションでは本学会の先生方にご支援・ご協力いただきありがとうございました。いずれも活発な議論があり、有意義なものになったと思います。特に小児脳腫瘍ガイドラインの取り組みについては、海外ゲストの先生方からも日本での取り組みに高い評価をいただくことができました。

学会直前の週にCape Townで開催されたWFNSに参会された先生が立て続けに体調崩し、直前にビデオ発表に切り替わるアクシデントがありましたが、こちらも皆様のご協力のもと無事に乗り切ることができました。

アジア・オセアニア地区における小児脳腫瘍への取り組みは、まだまだこれからです。学会初日に議論があったように、世界人口の50%近くを占めるこの地域での小児保健の向上は差し迫った課題になっています。引き続き国内だけでなく、海外、特にアジア・オセアニア各国との連携のもとに、ぜひ皆様の力を発揮していただければと願っています。

学会運営にあたりましては、準備期間が実質1年もなく多大なご不便・ご迷惑、そして学会場でも行き届かない点があったと思いますが、上記ご勘案の上ご容赦いただければ幸いです。

以上、簡単ではありますが学会の報告とさせていただきます。
皆様からお寄せいただいたご支援に、心から感謝申し上げます。
どうもありがとうございました。

第4回アジア・オセアニア小児神経外科学会 会長
白根礼造
師田信人